

防災協だより (124号)

【発行所】(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会
 横浜市中区北仲通4-40(商工中金横浜ビル3階) 電話045-212-1454
 【編集責任者】企画部会長 東山 泰三
<http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp>

平成29年度事業中間報告 (1)

1 平成29年度 県・警察・消防・防災事業所連絡会議

例年、各地域における防災事業所と関係機関との連携強化及び情報の共有化を目的に情報交換を行っており、下記6地域での会議が終了しました。

今年度会議での警察、消防等からの意見を踏まえ、来年度からは事前に高圧ガス漏洩等の事故・災害想定を設定し、各機関で十分議論した後、当連絡会議の場で初動体制、防災事業所への指示命令系統など諸課題を持ち寄り、すり合わせを実施することでその地域にマッチした災害対応計画(マニュアル)造りを継続的に実施することとしました。

地区名	開催日	会 場 名	出 席 者 数				
			防災事業所	県	警察	消防	合計
川 崎	6月15日(水)	かわさき保育会館	9	3	7	6	25
横 三	6月19日(月)	横須賀市文化会館	7	2	9	9	27
湘 南	6月23日(金)	平塚市民センター	8	1	8	9	26
県 西	6月27日(火)	小田原市民交流センター	12	1	4	5	22
横 浜	7月4日(火)	神奈川県民活動サポートセンター	13	2	20	18	53
県 央	7月7日(金)	サンエールさがみはら	11	2	9	11	33
合 計			60(55)	11(13)	57(54)	58(60)	186(182)

()内数字は昨年度実績

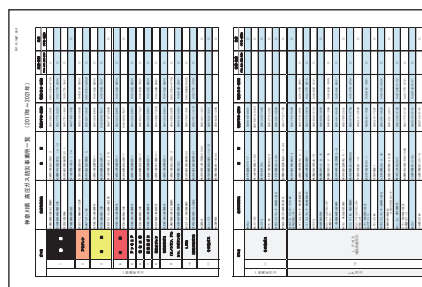
2 新防災事業所体制構築

平成26年度から継続してきました「防災体制整備に伴う新規防災事業所体制への移行」は本年10月1日施行を目指して準備を進めています。

これまでガス種別、地域等に細分化されていたものを地域は県全域に統一、扱うガス種別による区分に簡素化し、当協会会長名にて新たな「防災事業所指定書」を6月1日付で該当事業所宛に送付致しました。

現在、各事業所から寄せられた指定受諾書に基づき、防災事業所一覧表を整備し、「運送員必携」を改訂する作業を進めています。

今後、準備が整い次第、会員事業所、関係機関(行政、警察、消防等)に周知、スムーズな移行を目指します。



運送委員必携 新版イメージ：A3表裏二つ折り

平成29年度事業中間報告 (2)

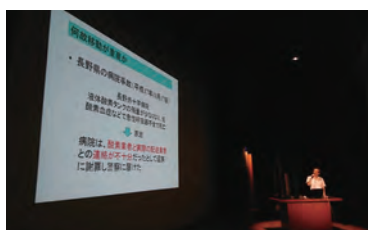
3 平成29年度 高圧ガス運送基準指導及び運送指導員資格取得更新講習会

高圧ガス運送時における事故の未然防止に向けた事業として、各種講習会に取り組んでいます。とりわけ、「高圧ガス運送基準指導」は県が定める運送基準を基に構成されており、県後援の下、県内7会場において開催しており、現在までに4会場で講習が終了しました。

(注：実績集計は3会場分)



川崎会場



藤沢会場



横浜会場

運送員・運送指導員証に関する注意喚起

初めて運送員講習会に受講される場合に持参する運送員証に必要事項が未記入で提出する受講者が続発しています。持参させる運送員証に、「受講者の顔写真・氏名・生年月日・事業所名」等、必須事項が記載済みかどうかを事業者において、必ず確認をお願い致します。

※特に顔写真が貼られていないケースが多く、受講者本人が講習会へ来たことを確認するためのものでもあるため、特に注意喚起をお願い致します。

- 注意1 (高圧ガスの運送途上には必ず携帯すること。)
- 2 (運送員証には必ず運転者本人の顔写真を貼ること)
 - 3 (運送員証には必ず指導員の番号、氏名を記載すること)
 - 4 (運送員証には必ず事業社名を記入すること)

受講時の注意事項

直近の顔写真 運送員証番号(事業者にて付番)

運転者氏名

高圧ガス運送員証
No. 123456
氏名 安全 太郎
生年月日 3 年 4 月 1 日
事業所名(仮称) 防災協高圧ガス輸送
指導員 000117
氏名 無事 迦衛琉

事業所名
指導員証番号

運送指導員氏名

運送員証見本

地区名	開催日	会 場 名	講習種類	受講者数 (人)			
				更新受講	新規受講	合 計	前年度
川 崎	7月12日(水)	かわさき保育会館	運送員	—	—	170	195
湘 南	7月19日(水)	藤沢市民会館	運送員	—	—	243	236
			指導員	242	56	298	174
横 浜	8月9日(水)	横浜市西公会堂	運送員	—	—	241	278
			指導員	220	42	262	225
県 西	9月7日(水)	小田原市生涯学習センター	運送員	—	—	—	154
横 三	10月12日(木)	横須賀市文化会館	運送員	—	—	—	123
			指導員	—	—	—	99
県 央	11月16日(木)	相模原南市民ホール	運送員	—	—	—	305
			指導員	—	—	—	224
横 浜	11月30日(木)	鶴見公会堂	運送員	—	—	—	257
			指導員	—	—	—	234

会員事業所紹介

株式会社巴商会 伊勢原営業所

株式会社巴商会は、昭和25年に東京都大田区蒲田に設立しました。創業以来“お客様のためになることをする”を社是のもと、お客様の立場になって考え行動することを信条として、法令の遵守と環境保全に配慮し、時代の変化に対応した有益な情報や商品・サービスを提供することにより、お客様や社会の発展に貢献することを目指し取り組んでおります。

また、半世紀以上の歴史の中で培われた安全と災害防止に係る確かな技術を土台として、環境マネジメントシステム・品質マネジメントシステムを構築して効果的な運用と継続的な改善を推進し、安心と安全を社会に提供しております。

弊社は神奈川県内に、伊勢原営業所・湘南営業所・京浜営業所横浜分室・横浜研究所の4拠点を設けており、伊勢原営業所は神奈川県伊勢原営業所として昭和55年に開設、神奈川県中部・西部、静岡県東部のユーザーを担当しております。

国内外に広がるネットワークによって安定供給と安心のサービスを提供し、平成27年には高圧ガス保安経済産業大臣表彰を頂きました。

事業所内には営業所の他に、各種高圧ガス配管工事を行う技術部、医療品関係を担当するメディカルサービス部、またグループ会社として、高圧ガス配送を担当しているトモ工運輸株式会社・地域のプロパンガス充填拠点である株式会社湘南エルピーセンター・滅菌ガスを製造しているSTT株式会社があり、合同で自衛消防訓練を行い安全操業に取り組んでいます。

弊社伊勢原営業所は特殊材料ガスに係る防災事業所として、(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会の活動への参加に多くの実績があり、その一環として漏洩容器及び内容物不明容器の収納・処理を目的とした高圧ガス収納筒(デバルバー)を預かり保管しております。

出動・収納を想定した緊急出動訓練を所内で定期的実施しており、平成28年6月、三浦郡葉山町海岸で投棄容器が発見された際には、(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会の要請のもと弊社社員が緊急出動、現地にて神奈川県職員の方々と協力し、デバルバーを使用しての容器回収作業の実施、ならびに容器処理会社への移送・廃棄処理を安全に行いました。

広域活動として、神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練においては、担当地域であった平成27年、高圧ガス運送途上における緊急措置訓練に、警察・消防と共に参加し、デバルバーを使用しての回収訓練を行いました。また、湘南地区ミニ防災訓練への参加もしており、本年度は水素ガスの燃焼特性訓練を行いました。

これからも、(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会の目的であります公共の安全の確保に寄与できるよう努めてまいりますので、会員各社のご指導ならびにご支援の程、宜しくお願い申し上げます。



東亜石油株式会社 京浜製油所

弊社は、1924年に石油製品の輸入販売を行う会社として創立しました。

現在、京浜製油所は京浜臨海部に立地し、昭和シェル石油グループの首都圏・東日本への石油製品の供給を担う基幹製油所として機能しております。主な事業内容は、昭和シェル石油からの委託を受け、原油・原料油を各種石油製品に精製する「石油事業」と、石油精製の過程で発生する副生ガス・残渣油を利用し、発電した電力を外部に供給する「電気事業」となります。

石油事業は、昭和シェル石油が輸入し、精製装置へ供給し、蒸留装置にてガソリン、灯油、軽油、および重質油に分離し、重質油はさらに日本唯一のフレキシコカー装置(重質油熱分解装置)等の分解装置によりガソリン、軽油に分解し製品化しております。原油処理能力は



70,000バレル/日と規模は小さい製油所ですが、国内最大の分解装置装備率を有しており、原油以外に外部から受け入れる重質原料油を処理することで効率的な運営を行っています。生産された製品類は万全の品質管理のもと、近郊のサービスステーションへはタンクローリー車、各地の油槽所へは船舶で、日夜、休むことなく出荷しています。

電気事業は、IPP発電事業(電力卸供給)を関係会社である株式会社ジェネックスにて行っています。ガスタービンと廃熱利用蒸気タービンの組み合わせで発電した電力は川崎市の家庭電力年間消費量の約2/3相当を賄うことが可能であり、東京電力株式会社に卸供給されるほか、製油所で必要とする大部分の電力と蒸気を供給しています。発電所は総合エネルギー効率の高いコージェネレーションシステムとなっており、発電設備には環境保全のため排ガスの脱硫装置、脱硝装置、電気集塵装置などを完備しています。また、設備の周囲には木々が植えられ、設備の色彩にも配慮した緑の多い発電所になっています。

東亜石油および当社グループは石油精製事業と電力卸供給事業を行い、エネルギーの安定供給により社会に貢献することが会社の使命であることを「経営理念」に定めています。

東亜石油グループはHSSE(健康・安全・危機管理・環境)の確保を基本として社会・環境と調和し、さらに地域社会と共生を図りながら、企業活動を行っていくことが長期にわたって持続可能な発展を遂げていくために必要であると考えています。わたしたちは今後もこの経営理念のもと、高い品質の石油製品と電力を安定的に皆様の元にお届けして参ります。

今後とも(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会、会員各社の皆様のご指導・ご支援を宜しくお願いいたします。

会員事業所紹介

株式会社日本触媒 川崎製造所

弊社川崎製造所は、1959年（昭和34年）日本触媒独自の技術により、国産では最初の酸化エチレンの本格生産を行うことからスタートしました。以来、酸化エチレンの誘導体製品の生産をはじめ、コンクリート混和剤用ポリマーなど日本触媒の主力製品を生産している千鳥工場の敷地面積は、東西に100メートル、南北に400メートルの約4万9千平方メートルです。

川崎製造所の主力製品である酸化エチレンは、空気分離装置により大気中の空気を液化分離し得られた酸素と、隣接していますJXTGエネルギー（株）様よりパイプラインにより供給頂いているエチレンと反応



させ製造しています。

千鳥工場では、年間16万4千トンの生産能力を有し、1989年に高圧ガス認定事業所を取得しまして、2年間の連続稼働を可能としています。浮島工場の2010年に実施しました7万トンの増産工事により、生産能力は浮島工場と合わせて32万4千トンの国内最大規模の設備となっています。酸化エチレンは当社が今日に成長する基礎を築いた製品でもあります。

酸化エチレンの主な誘導体製品としてエタノールアミン、エチレンジアミンをはじめ、最近では、N-ビニルピロリドンという製品の商業生産を始めました。この製品は光ファイバーや人工のりの原料に使用されていますが、N-ビニルピロリドンのポリマーの開発により、人工透析用の中空糸等の医薬品への販売も拡大しています。

省エネルギーの一貫としましては、コージェネレーションシステムで7000kwの発電能力で工場の使用電力の約半分をまかなっています。

また、2008年より川崎臨海鉄道様の線路の一部購入し、酸化エチレンの出荷業務を一部ローリーから鉄道輸送へのモーダルシフトにより、環境負荷低減や環境物流対策に効果を上げています。

一方では安全対策としまして設備の定期点検・保全、特に防災資機材の点検に力を入れ、公設消防や川崎市千鳥地区防災協議会との合同防災訓練を実施して防災力の向上に努めています。

最後に、今後とも（公社）神奈川県高圧ガス防災協議会、会員各社の皆様の御指導・御支援をいただき、より一層の安全・安心に努めてまいりますのでよろしくお願い致します。ご安全に！

三菱瓦斯化学株式会社 山北工場

三菱ガス化学株式会社は、「化学にもとづく幅広い価値の創造を通じて、社会の発展と調和に貢献する」という存在理念のもと、「独自技術に立脚した特色と存在感のある優良化学会社」として、常に新しい技術と価値の創造に挑み続け、社会とともに成長してまいりました。「天然ガス系化学品」「芳香族化学品」「機能化学品」「特殊機能材」の4つのカンパニーを柱として、メタノールやキシレン、過酸化水素といった基礎化学品から、高性能エンジニアリングプラスチック、発泡プラスチック、半導体パッケージ材料、脱酸素剤「エージレス®」といった独創性の高い製品を提供しております。

山北工場は足柄上郡山北町に位置し、昭和8年（1933年）に江戸川バリウム工業所（後の三菱江戸川化学）の山北工場として誕生し、豊富な水資源と電力を背景に日本で初めての電解法による過酸化水素の製造を開始しました。以後、国内唯一の過酸化水素製造工場として長く貢献してまいりました。

昭和13年には過硫酸アンモニウムの製造を開始し、現在では過硫酸カリウム、過硫酸ナトリウムの製造も行なっております。昭和38年には当社独自の自動酸化法開発により、過酸化水素の製造は四日市工場に委ねられ、昭和42年に当工場での生産は終了しました。昭和46年に現在の三菱瓦斯化学株式会社山北工場となり、半導体製造工程での洗浄及びシリコンウェハーやデバイスのエッチングなどに使われる超純過酸化水素、プリント配線基板の製造や金属加工に使用される化学研磨液をはじめ、アンモニアを原料とする電解技術を生かした過硫酸塩類の製造、更に水冷式空調機におけるスライム・細菌・缶石等の除去に使われる水処理剤・環境薬剤等の製品を製造しています。過硫酸塩類は酸化剤やプリント配線基板のエッチング剤として、また、合成樹脂の重合開始剤などの用途に用いられています。

また、超純過酸化水素及び化学研磨液のマザープラントとして三菱瓦斯化学グループの海外ネットワークと密接に連携しています。

山北工場では1994年にISO9001認証を、2000年にはISO14001認証をそれぞれ取得し、品質と環境の両面から積極的に改善活動に取り組んでおります。

また、化学工場であることから、様々な化学物質や液化アンモニアの取扱いがありますので、安全な取り扱い方法の教育をはじめ、工場全体から部署毎の小集団におけるまで安全活動を推進しております。工場で働く従業員一人ひとりの地道な活動の結果、2005年7月以降、連続無災害を継続しております。

自然豊かなこの山北の地において、これからも安全・安定生産を最優先し、自然・地域との共生を目指した事業活動を続けてまいりますので、（公社）神奈川県高圧ガス防災協議会様、会員各社様のご指導・ご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。



平成29年度神奈川県工業保安功労者県政総合センター所長表彰式の開催

6月13日（火）午後、各地域県政総合センターにおいて県政総合センター所長表彰式が行われ、当協会からは2名の方がこれまでの功績を評価され受賞されました。

☆県央地域県政総合センター所長表彰

新相模酸素株式会社 鈴木常夫氏



☆湘南地域県政総合センター所長表彰

高圧ガス工業株式会社 野本勝郎氏



平成29年度（第32回）関東高圧ガス保安大会の開催

7月26日（水）、ホテルアジュール竹芝（東京都港区竹芝）において平成29年度（第32回）関東高圧ガス保安大会が開催されました。

大会では関東東北産業保安監督部長表彰、関東高圧ガス保安団体連合会会長表彰式が執り行われ、当協会から2事業所、1名計3件の受賞がありました。

また、保安大会終了後の記念講演では「再生可能エネルギーを活用した水素社会実現に向けた取組」と題し、(株)東芝 次世代エネルギー事業開発プロジェクトチーム 統括部長 大田裕之氏の講演がありました。

☆関東東北産業保安監督部長表彰受賞

・優良製造所 新相模酸素株式会社 相模原工場

・優良運送事業所 弘容通商株式会社 神奈川営業所

☆関東高圧ガス保安団体連合会会長表彰受賞

・感謝状 石川哲也氏（公社）神奈川県高圧ガス防災協議会

協議会からの “お知らせ” と “お願い”

平成29年度（第44回）神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練

訓練開催日時：平成29年10月18日（水）13時～16時
 訓練会場：内貿バース（横浜市西区みなとみらい1丁目）
 訓練概要：高圧ガス燃焼特性、基本措置訓練取扱形態別訓練等
 主催 神奈川県、県内5保安団体
 関係機関 横浜市消防局西消防署、神奈川県警本部、戸部警察署

第12回神奈川県高圧ガス火薬類保安大会の開催

開催日時：平成29年10月20日（金）14時～17時
 開催場所：神奈川県立かながわ労働プラザ 3階多目的ホール
 記念講演：「災害事例から学ぶ防災意識の向上」
 川崎市消防局 警防部長 松野 忍 氏

部会県外研修見学会の開催

開催日程：平成29年10月24日（火）～25日（水）（1泊2日）
 見学場所：静岡県高圧ガス・危険物防災訓練（富士市）他
 ※詳細については別途会員事業所宛にご案内致します。

平成29年度高圧ガス移動監視者講習会開催予定

〔指定する高圧ガス（可燃性、酸素、毒性、液化石油、特殊高圧の各ガス）を一定数量以上移動（輸送）するには『高圧ガス移動監視者』の資格が必要となります。〕

講習・検定開催日程	講習・検定会場	定員
〔講習〕 平成29年11月21日（火）～22日（水） （2日間講習） 両日とも9時30分～17時30分 〔検定〕 平成29年12月1日（金） 10時00分～11時30分	かわさき保育会館 大会議室 川崎市川崎区渡田新町3-2-8 「京急八丁畷」駅下車 徒歩15分	100名
〔講習〕 平成30年1月24日（水）～25日（木） （2日間講習） 〔検定〕 平成30年2月9日（金）	（予定） 波止場会館（横浜市港湾労働会館） 横浜市中区海岸通1-1 （当協会HPにてご確認ください）	60名

※申込用紙は、ホームページに掲載してある「申込用紙」をダウンロードしてもご利用できます。

事務局までお知らせ・ご連絡をお願いします。

社名、住所、組織変更及び人事異動による変更等がありましたら、お手数ですが所定の様式に必要事項をご記入のうえ、防災協議会事務局あてお送りください。

・社名変更 ・組織変更 ・住所変更 ・電話/FAX番号変更 ・協議会ご担当者変更等
【事務局：電話045-212-1454 FAX 045-212-1455】
 E-mail:jimu@kanagawa-bousai-hpg.or.jp
 URL:http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp

※「所定の様式」は、ホームページからもダウンロードできます。